

# SONY

## アクティブ・ラーニング

- デジタルペーパーLMS連携
- アクティブ・ラーニング支援ソリューション
- 映像活用ソリューション
- 教室AVシステム

## ラーニング・コモンズ

- 協働学習支援ソリューション
- 反転授業支援ソリューション

## メンテナンスサポート

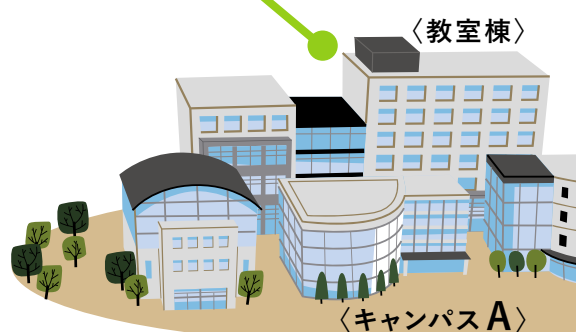
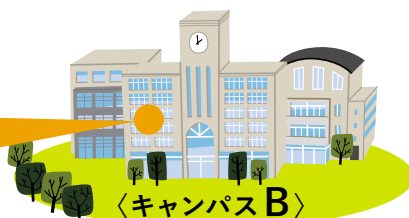
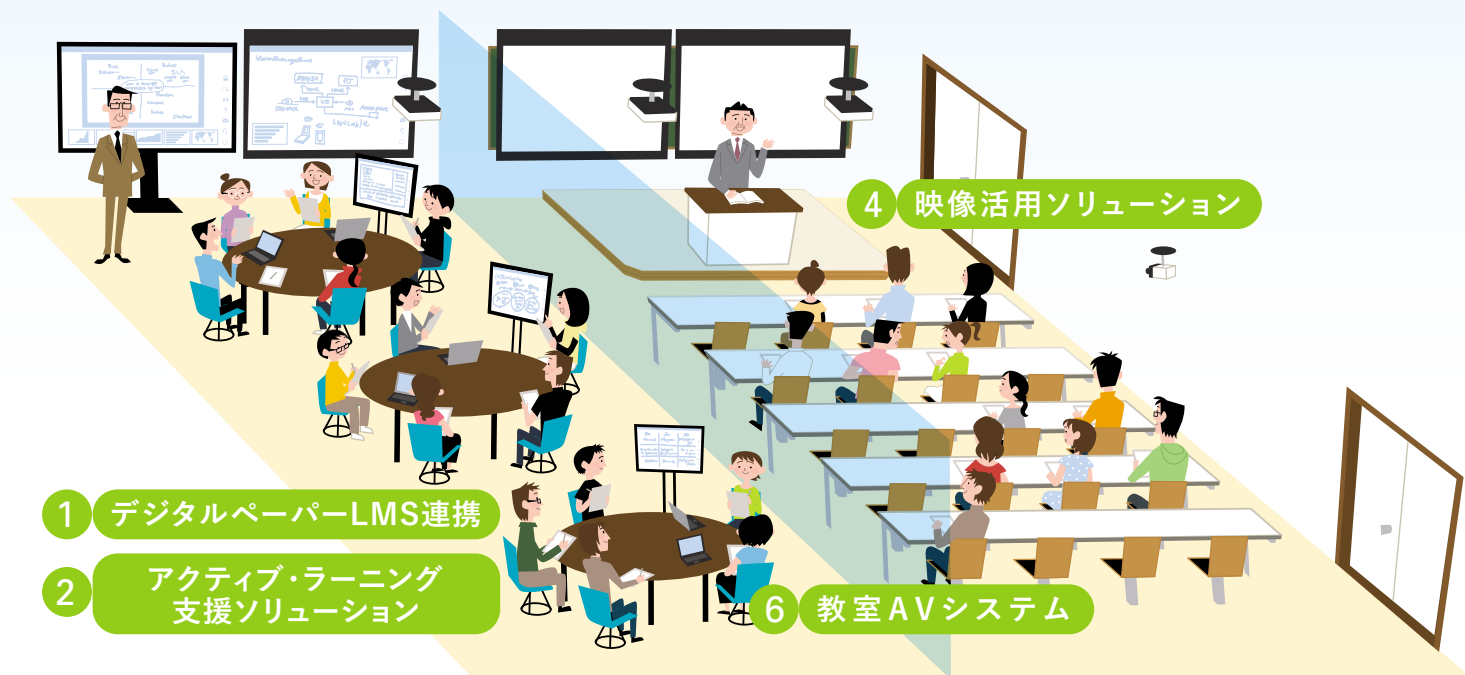
# ソニーの教育ICTソリューション



[sony.jp/pro/education/](http://sony.jp/pro/education/)

# 信頼のデジタルAV技術で学びをサポート。 ソニーの教育ICTソリューション

## 《アクティブ・ラーニング》



1

### デジタルペーパー LMS連携

書きながら考える／考えを整理する／理解するという学びの基本をLMS（ラーニングマネジメントシステム）と連携。講義やゼミにおいて学修の質の向上やペーパーレスに貢献します。



P4

2

### アクティブ・ラーニング 支援ソリューション

映像内書き込みや直感的なタッチ操作などによるインタラクティブなレクチャーが可能。映像とネットワークを駆使した効果的な講義進行を実現します。



P6

3

### 協働学習支援 ソリューション

BYODからの資料表示をしたり、ビデオ会議でデータシェアをすることで、グループ内及び遠隔地とのコミュニケーションを活性化。アイデアの提示と意見交換による学習を促します。



P7

学生がもっと主体的に学修できる環境作りのため、  
教育現場でより簡単でより便利なICTを活用するシステムの構築・運用を支援いたします。

## 《ラーニング・コモンズ》

### 5 反転授業支援ソリューション

### 3 協働学習支援ソリューション

### 4 〈プレゼンテーション〉 収録ルーム



〈図書館棟〉



4

### 映像活用 ソリューション

カメラで撮影した講義や、ビデオ会議システムを利用した遠隔講義などを収録。それらの編集、管理、配信までを、一連のワークフローで効率的に実現します。



P8

5

### 反転授業支援 ソリューション

LMSから反転授業の映像を視聴したり、デジタルペーパーに課題をダウンロード／提出をすることができます。スマートな反転授業によって、学生の理解を深めます。



P9

6

### 教室AVシステム

数秒で起動するプロジェクターとデジタルワイヤレスマイク、そして機能を集約したAVコントロールシステムが質の高い講義を実現します。

P10

### メンテナンスサポート

P12

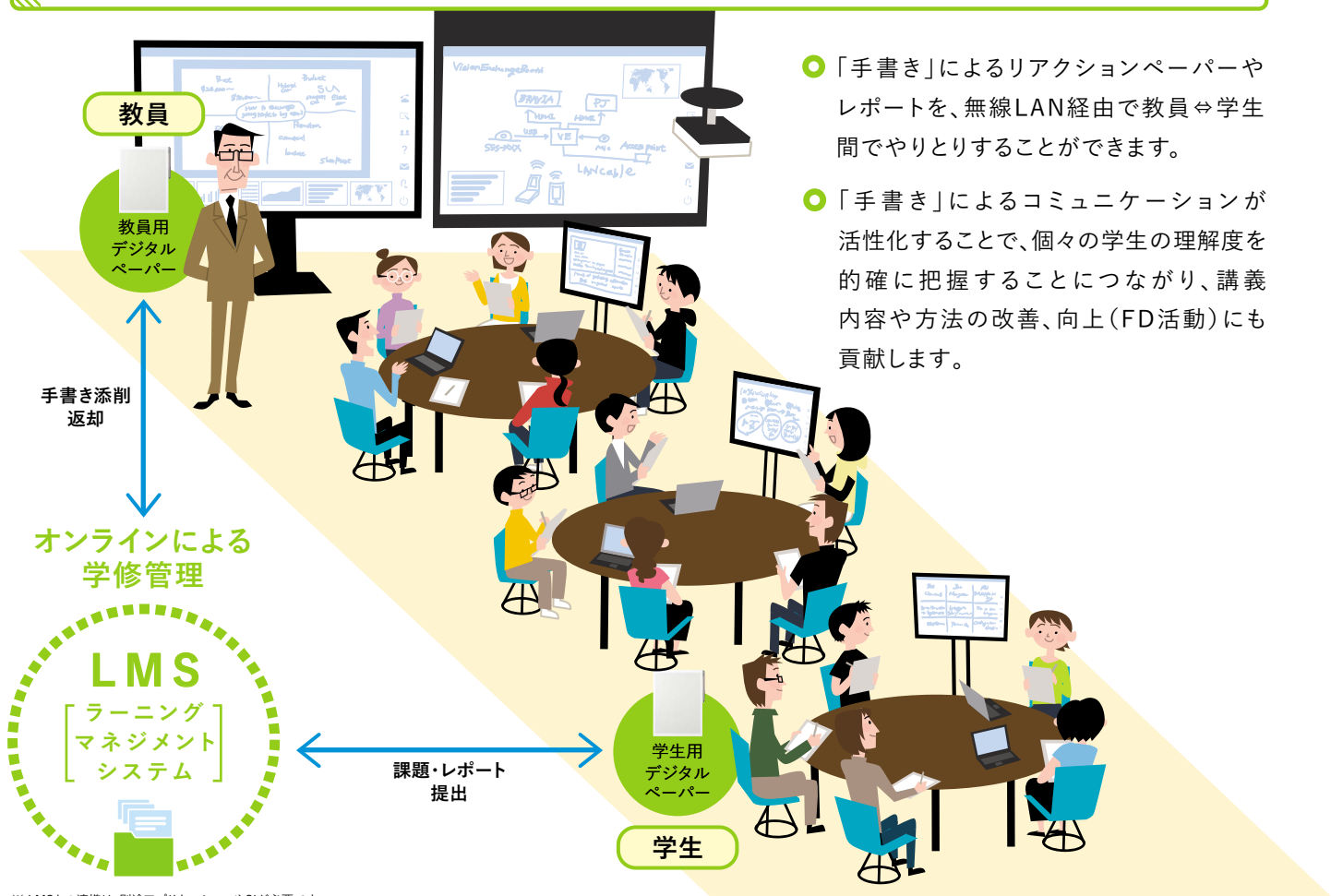
# デジタルペーパーLMS連携

「手書き」を活用することで、  
効果的な学修環境を創出します。

デジタルペーパーを活用することで、「書きながら考える／考えを整理する／理解する」という学びの基本をLMS（ラーニングマネジメントシステム）と連携させることが可能。手書きしたものを無線LAN経由で教員と学生がやりとりしたり、手書きによる学修履歴をポートフォリオとして蓄積したりすることができます。また、手書きによる教員とのコミュニケーションは、個々の学生の理解度を的確に把握することにつながる他、講義の内容や方法の改善と向上にも貢献。さらに、教員の添削作業の効率化やペーパーレス化も実現します。



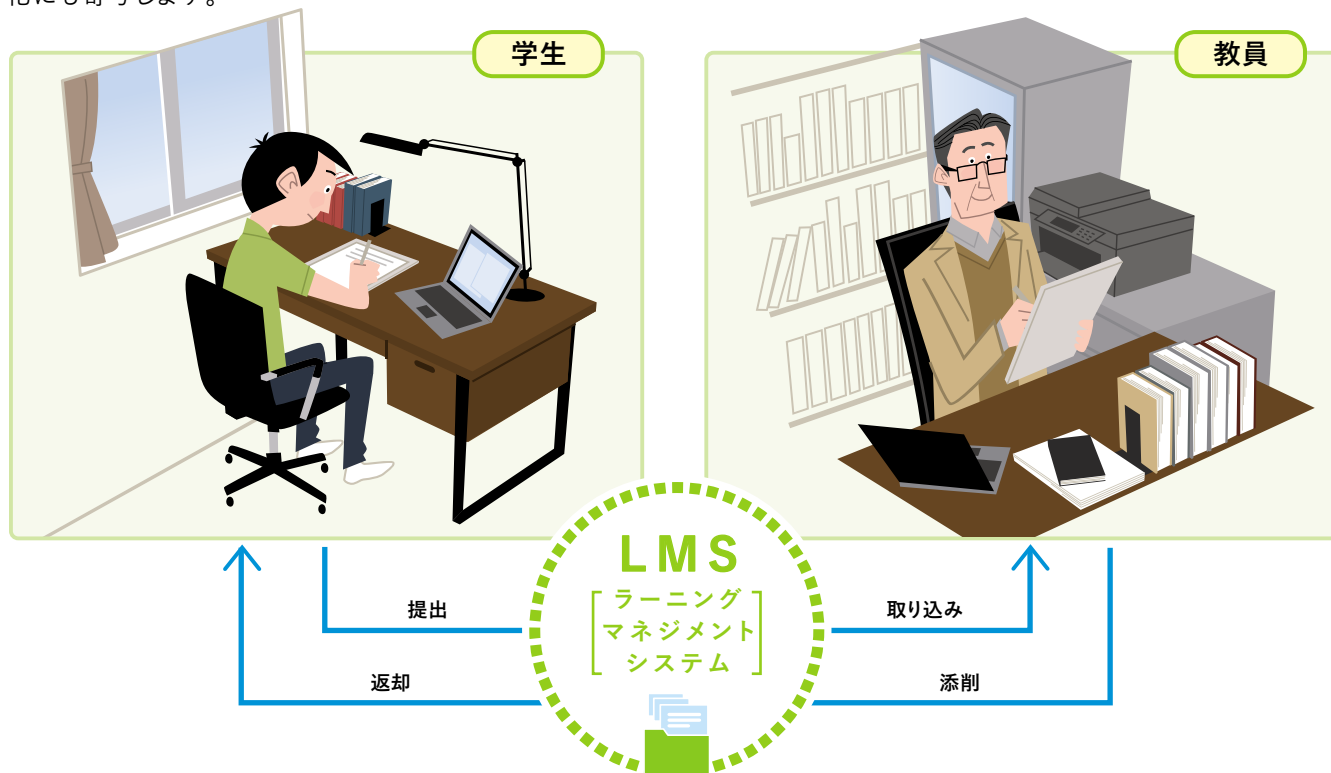
## 講義やゼミでの活用





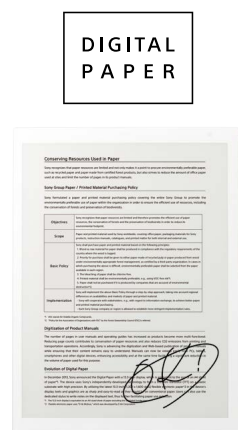
## 教員の添削作業の効率化、ペーパーレス化

- 学生への講義資料やレジュメ、課題の配付、レポートやテストの回収はLMSを通して行い、配付、回収にかかる作業を効率化します。
- デジタルペーパーを利用することで、学内のペーパーレス化にも寄与します。
- 教員はLMSからデジタルペーパーに学生からの提出物を取り込むことができ、“紙”のように添削作業を進め、学生にフィードバックすることができます。「手書き」によるフィードバックは学生の学修意欲を促進し、学修環境の質的向上にもつながります。



### デジタルペーパー

論文などの文書の査読や、学生のレポート・卒論指導に最適なツールです。



フレームに段差がないフルフラットデザイン

A4ノート\*より軽い!

バッテリー切れを気にせず使える

A4サイズ相当  
[13.3型ディスプレイ]

約349g  
\* A4ノート\*60枚相当

最長3週間使用  
\* 使用環境・機器の設定状態によります

デジタルペーパー  
DPT-RP1

# アクティブ・ラーニング支援ソリューション

映像とネットワークを活用した効果的な講義進行を実現し、  
アクティブ・ラーニングのワークフローを効率化します。

## レクチャーやプレゼンテーションをインタラクティブに



## BYODでグループワークを活発に

- 調査した課題などをBYODから複数同時表示、切り替えながら議論を活発化。
- LMSからデジタルペーパーへの課題やアンケートのダウンロード・提出ができ、ペーパーレスの授業進行が可能。
- 「手書き」による資料への自由な書き込みや、複数ホワイトボードの活用、スナップショットを活用し、議論を振り返りながら成果物の作成が可能。

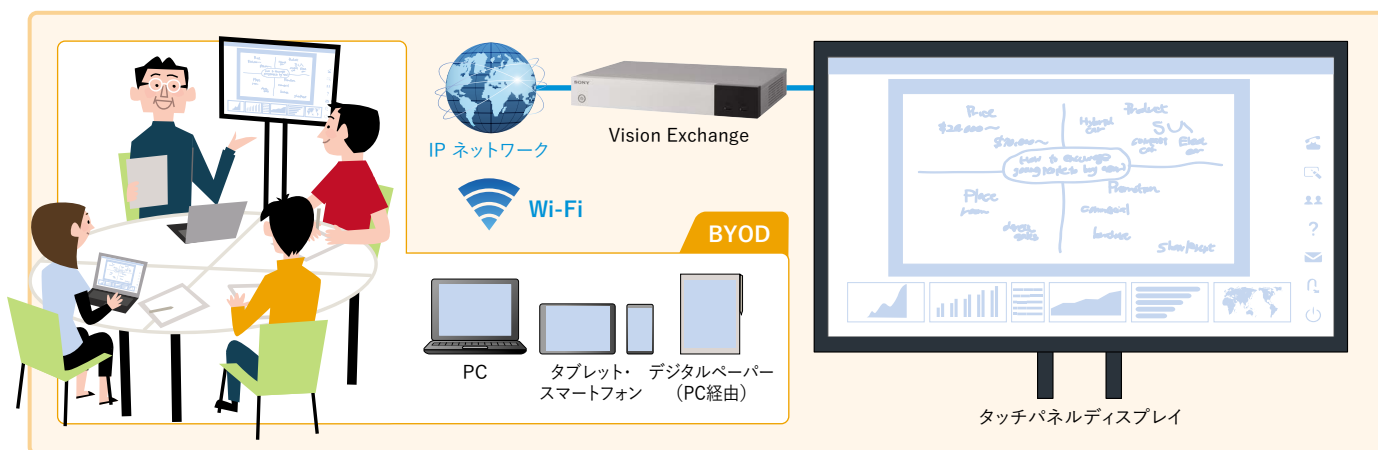
# 協働学習支援ソリューション

みんなのアイデアを手軽に表示できます。

コミュニケーションのスピードと質が高まることで検討内容が深まります。

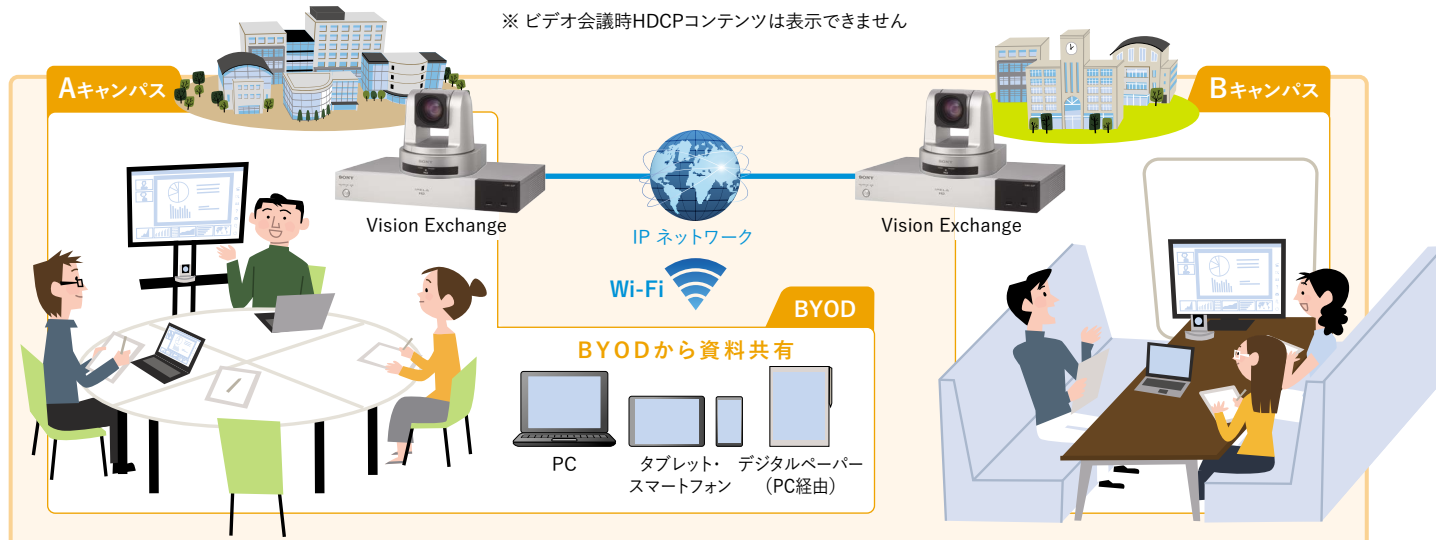
## グループワークをもっとクリエイティブに

- BYODから映像を簡単にワイヤレスミラーリング。HDMI入力にも対応しさまざまな手段で資料表示。
- 表示している映像に書き込みが可能。意見やポイントを伝えることが容易。
- ホワイトボードが複数開けるので、アイデアの発散や集約を容易にします。



## 離れたキャンパスともリモートでコミュニケーション

- ビデオ会議機能で離れたキャンパスとも接続しコミュニケーションが可能。
- 表示映像やホワイトボードをリモート拠点とシェアして意見交換の活性化を支援します。  
※ ビデオ会議時HDCPコンテンツは表示できません
- スクリーンショットの保存・呼び出しが可能で議論の立ち戻りや見直しが即座にできます。



※ ビデオ会議の接続先はVision Exchangeの他PCS-XG100/XG77/XC1/MCS1に対応します。

# 映像活用ソリューション

講義コンテンツの配信や、アクティブ・ラーニングにおける映像活用などをサポートします。

ネットワークカメラやリモートカメラで撮影した講義、ビデオ会議システムを使った遠隔講義やグループワークなどを映像コンテンツとして収録。それらの編集・管理・配信を一連のワークフローで効率的に行うことができます。講義コンテンツをオンラインで事前に視聴して教室で演習を行う「反転授業」が注目されるなど、アクティブ・ラーニングの広がりの中でますます高まるオンデマンドコンテンツへの需要に応えます。





## 講義収録コンテンツの統合管理が可能

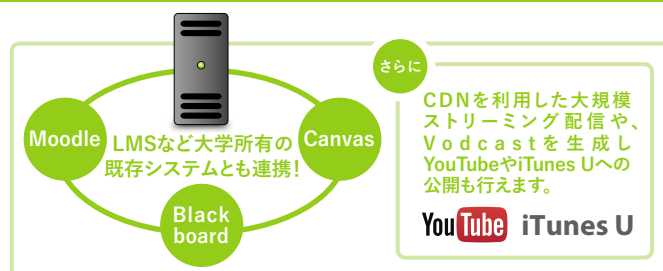


アロバビュー講義収録システムなど、各レコーダーで録画したコンテンツは、撮影後に自動でMediasite Enterprise Video Platformサーバーにアップロードされます。また、Webブラウザーからのオンラインでのコンテンツ編集や、映像情報などの管理・配信の際に必要な視聴制限設定などを行うことが可能。一連のワークフローで映像コンテンツの効率的な運用を実現できます。



## LMSなど既設のシステムとも連携しやすい高い拡張性

Moodle、BlackboardなどのLMS(ラーニングマネジメントシステム)と連携することができます。また、認証システムとしてActive Directory、LDAP、Shibboleth認証との連携や、シングルサインオンとの連携も可能。管理面と安全面から安心して視聴できる仕組みを提供します。また、CDNを利用した大規模ストリーミング配信や、Vodcastを生成しYouTubeやiTunes Uへの公開も行えます。\* Vodcast生成はオプションです。

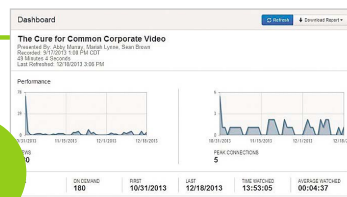


## 学修の実態をデータ化し、効果的な分析が可能

投票機能や視聴履歴の可視化など、学修支援に役立つデータ分析が行えます。ファカルティ・ディベロップメントに向けた最適化など、これからの教育支援に役立ちます。

投票機能

視聴履歴の可視化



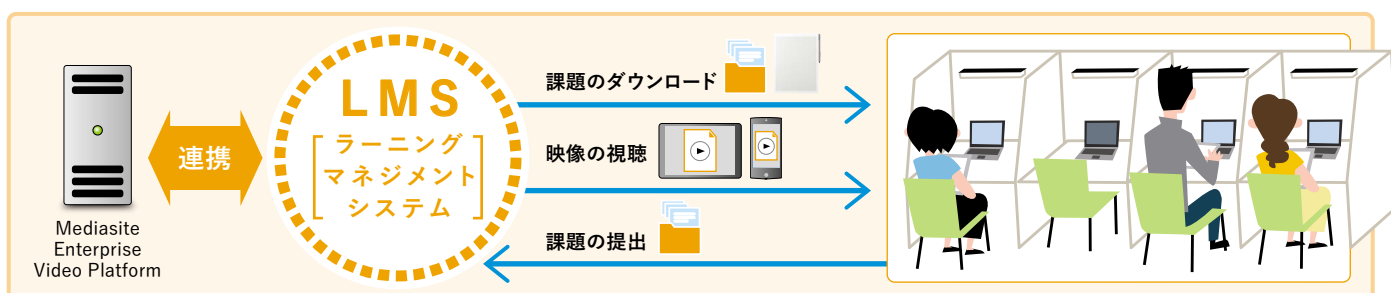
## ラーニング・コモンズ

# 反転授業支援ソリューション

デジタルペーパーと講義映像で学生の理解を促進します。

LMSからデジタルペーパーに課題をダウンロード。

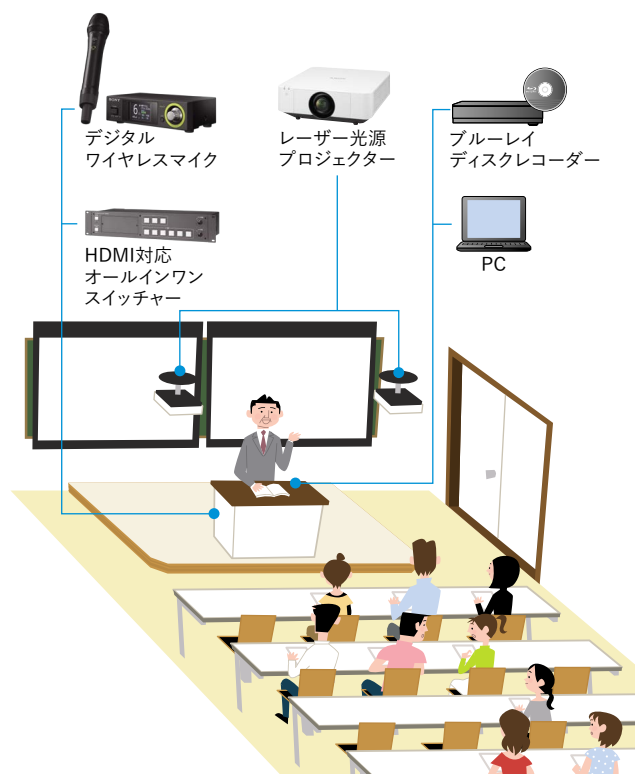
また、授業映像の視聴や課題の提出もLMSを通して行うことで、よりスマートな反転授業を実現します。



# 教室AVシステム

スピーディーに大画面表示。質の高い講義をサポートします。

数秒で起動するレーザー光源プロジェクターは、限られた講義時間をムダにすることがなく、ランプ切れによる講義中断の心配もありません。また、タブレットでコントロールできるビジョンプレゼンターや、複数の機器の機能を集約したAVコントロールシステム、デジタルワイヤレスマイクなどにより、質の高い講義を簡単な操作でスムーズに進行できます。準備する機器を減らしたシンプルな構成で、コストを抑えたシステム構築が可能です。



## レーザー光源プロジェクター

レーザー光源プロジェクターの使用により、数秒で起動し、かつランプ切れの心配をせずに講義を行えます。

### ランプ光源プロジェクターの課題

起動時間が長い



突然ランプが切れることがある



消耗品交換が必要



### レーザー光源プロジェクターなら

映像投写まで  
わずか数秒とスピーディー

レーザー光源を使用しているため、電源オンボタンを押してからわずか数秒で映像が投写できるので、講義をスムーズに開始できます。さらに使用後のクーリングも不要なため、短時間で電源オフできます。

突然の授業中断を回避

レーザー光源は、突然に光源切れが発生するリスクが非常に低く、講義を中断しない高い信頼性があります。

長期間、明るさをキープ

レーザー光源は、約20,000時間使い続けても、使用開始時の約70%の明るさを保ちます\*。ランプのように定期的に交換する必要はありません。

\* あくまで目安であり使用環境や使用状況により異なる場合があります。

## AVコントロールシステム

- PCやAV機器の入力切り替え、マイクの音量調節、スクリーンの昇降などの制御が簡単に行えます（パネルのカスタマイズも可能）。
- オーディオミキサー、パワーアンプ、パワーディストリビューター、スイッチャー、コントローラー機能を全て搭載したオールインワンのAVコントローラーです。

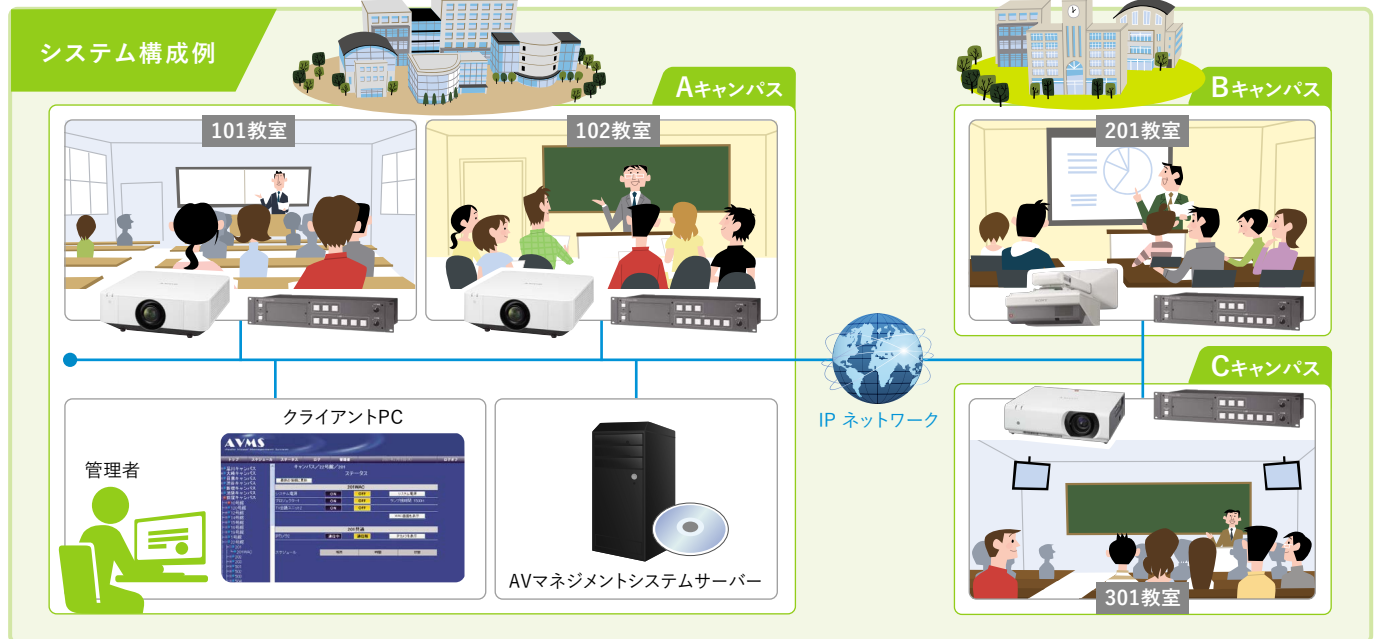


HDMI対応  
オールインワンスイッチャー

タッチパネル対応  
コントローラー例  
(画像はイメージ例です。)

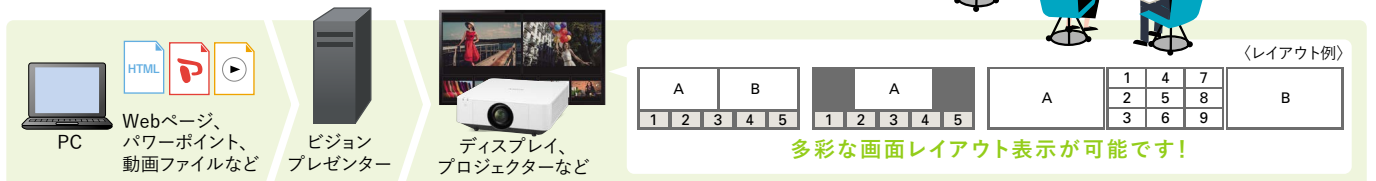
## 教室設備の統合管理

- ネットワークによって、遠隔地から複数の教室AVシステムを集中監視・操作することができます。
- プロジェクターランプの使用時間を把握し、計画的な交換メンテナンスの実施ができます。
- 操作ログからAV機器の利用状況を分析し、設備投資効果の把握にも役立ちます。



## プレゼンテーション支援ツール

さまざまなコンテンツを見やすいレイアウトで一覧表示でき、直感的な操作で簡単に切り替えが可能です。ケーブルの抜き差しがなく、大掛かりなシステムも不要。タブレットを持って動しながらアクティブなプレゼンテーションができます。



## システム活用例

### ● ホール・講堂での迫力あるプレゼンテーション



プロジェクター3面をブレンディングし長大なコンテンツをダイナミックに表示



複数のコンテンツをレイアウトした表示。スタイリッシュなプレゼンテーションで視聴者の目を引く

### ● 多画面によるプレゼンテーションやレビュー



2台のプロジェクターを活用し、研究内容や発表内容を比較表示・切り替えしながらディスカッションを活性化

# メンテナンスサポート

安心してご利用いただくために

お客様のご要望に柔軟に対応できる安心のサポート体制。日常のご相談から、事前点検、定期点検などお客様のシステムを最適な状態でご利用いただくための技術と安心をお届けします。

項 目	主 な 内 容															
常駐保守	<ul style="list-style-type: none"><li>● 設備利用支援や障害対応業務、コンテンツ制作業務などの専門性の高い業務内容をサポートします。</li></ul> <p>《主な業務内容》</p> <table><tr><td>・機器利用支援</td><td>・イベントサポート業務</td><td>・テクニカルサポート業務</td></tr><tr><td>・緊急障害対応</td><td>・業務報告</td><td>・利用手順書作成業務</td></tr><tr><td>・コンテンツ作成業務</td><td>・コンサルティング(設備拡張・運用業務など)</td><td>・大学業務支援</td></tr><tr><td>・運用動作点検業務</td><td>・障害対応／エスカレーション業務</td><td>・インフォメーション作成業務</td></tr><tr><td>・サービスフロント業務</td><td></td><td></td></tr></table>	・機器利用支援	・イベントサポート業務	・テクニカルサポート業務	・緊急障害対応	・業務報告	・利用手順書作成業務	・コンテンツ作成業務	・コンサルティング(設備拡張・運用業務など)	・大学業務支援	・運用動作点検業務	・障害対応／エスカレーション業務	・インフォメーション作成業務	・サービスフロント業務		
・機器利用支援	・イベントサポート業務	・テクニカルサポート業務														
・緊急障害対応	・業務報告	・利用手順書作成業務														
・コンテンツ作成業務	・コンサルティング(設備拡張・運用業務など)	・大学業務支援														
・運用動作点検業務	・障害対応／エスカレーション業務	・インフォメーション作成業務														
・サービスフロント業務																
コールセンター	<ul style="list-style-type: none"><li>● お客様専用の窓口を設け、システムに関するご相談や障害発生時に、技術スタッフが迅速に対応します。</li></ul> <p>《主な業務内容》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・障害受付／障害切り分け／技術のご相談対応</li></ul>															
遠隔監視	<ul style="list-style-type: none"><li>● ネットワークを通じて、機器の状態を監視します。</li><li>● 障害を瞬時に検知することにより、迅速に障害復旧に対応します。</li></ul> <p>※ネットワーク対応機器へのサービス提供となります。</p>															
センドバック保守	<ul style="list-style-type: none"><li>● 不具合が発生した機器は一旦お預かりし、修理および動作確認を行った上でご返送します。</li><li>● 修理期間中は代替機器をお届けしますので、修理期間でも通常通りシステムをご利用いただけます。</li></ul>															
オンサイト保守	<ul style="list-style-type: none"><li>● 各地サービス拠点から技術スタッフがお伺いし、迅速に修理・代替機入れ替えなどを行います。</li></ul>															
定期点検	<ul style="list-style-type: none"><li>● 障害発生の事前防止診断や部品交換を定期的に行います。</li><li>● 点検回数は、使用頻度に合わせてお選びいただけます。</li></ul>															

詳しくはソニービジネスソリューションの営業担当・保守サポート担当までお問い合わせください。

## 記載内容についてのご注意

**カタログ上の注意** ●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります ●カタログと実際の商品の色とは印刷の関係で少し異なる場合があります  
**商標について** ●SONY、Vision Exchangeは、ソニー株式会社の商標です ●Mediasite、Mediasiteロゴは米国ソニックファウンドリー社の商標です ●ArobaView、アロバビューは、株式会社アロバの登録商標です ●iTunes Uは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です ●YouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です ●Active Directoryは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です ●HDMIは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です ●その他、記載されている各社名および各商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していません

ソニーウェブサイト

sony.jp/pro/

本カタログは環境に配慮した植物油インキを使用

※特定市場向け商品などソニーウェブサイトに掲載していない商品もあります

ソニー株式会社

ソニービジネスソリューション株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1  
URL <http://www.sonybsc.com>

購入に関するお問い合わせ

業務用商品購入相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-580-730

受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

製品に関するお問い合わせ(使い方、故障診断など)

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333 携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 050-3754-9550

受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

2017.5

カタログ記載内容2017年5月現在